

若者が元気なまちづくり

～地元鳥取大学生と連携した新しい形の商店街～

事業実施主体：角盤町商店街振興組合、鳥取県酒造組合、
皆生温泉旅館組合
事業実施箇所：鳥取県米子市
商店街店舗数：35店舗

- 市内には約1,200名の学生が通う鳥取大学医学部があり、実は多くの若者が暮らす街である。
- 鳥取大学の学生の意見を取り入れ、新しいフェスタへの要望を聞く機会を設け、当日はステージ上でのクイズやパフォーマンスなどの実施を織り交ぜた、新しい形の「地ビールフェスタ」を開催する。



学生の若い力とアイデアを生かした、若者を惹きつける新しい形のフェスタを作り上げ、開催することにより、若者を含めた多世代の住民が元気なまちづくり、新しい形の商店街の形成を目指す。

背景・課題

- ✓ 毎月「地ビールフェスタ」を開催しているが、コロナの影響で3月から9月まで中止や規模縮小を行ったため、波及効果があった皆生温泉や地元酒造も影響を受け、地元経済は深刻な危機に陥っている状態。
- ✓ 大学生が多く暮らす街でありながら、若者に対して商店街の魅力を発信できていなかった。

取組内容

- ✓ テレビ局とコラボしたLive配信および事前の地ビール配達により、自宅に居ながら「地ビールフェスタ」を楽しんでもらう。
- ✓ これまで連携してこなかった鳥取大学の学生と協力し、フェスタに出店する新しいブースやイベントを企画・実施する。
- ✓ 3組合それぞれの力を活かした新メニューを開発し、フェスタをさらに盛り上げる。

見込まれる効果等

- ✓ Live配信の実施による、「地ビールフェスタ」の知名度の向上。
- ✓ 開発された新メニューは地元飲食店などで引き続き提供する。加えてオンラインでの販売も実施し、長期的な売上を期待。
- ✓ 若者やファミリー層の来訪増加と常連化による顧客の定着を図る。



過去に開催した地ビールフェスタの会場ようす